

## 地域と学校が共に子どもたちを育てる

「コミュニティスクールって何?」と思われた方も多いことでしょう。コミュニティスクールとは、「学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる『地域とともにある学校』への転換を図るための有効な仕組み（文部科学省より）」であり、簡単に言うと「地域（その学区内のすべての方々）が学校の運営に参画し、子供の教育と一緒に担っていく」というものです。これまでは「学校のことは学校で」が当たり前でしたが、今では全国ほぼすべての学校がこの仕組みを取り入れています。この泉台小学校でも取り入れており、「学校運営協議会」を中心にコミュニティスクールを進めています。

### 令和4年度の取組 ～どのような組織で、どのようなことをしているのか～

#### <学校運営協議会>

学校運営協議会の主な役割は、学校運営の方針を承認する、学校運営に関して意見を述べるというもので、本年度もすでに2回開催し、さまざまなご意見をいただいています。さらに本校では「学校と地域とを結ぶ」という大切な役割を担っていただいています。例としてある担任が「戦争の学習で、戦時中の話を子どもたちに聞かせたい」という願いを持った時、協議会へ相談すると「それなら〇〇さんがいいぞ」「じゃあ、俺が願ひしておくよ」とコーディネートしていただいています。また協議会メンバー自らがボランティア部に所属し、学校での活動に参加していただいています。

学校運営協議会運営委員（敬称略）

岸田幸男（会長） 岸田正夫 仲條弘士 栗岩俊夫 丸山みさを 栗岩和彦 近藤直子  
服部昌史 小林和人 高橋信一郎

#### <ボランティア隊員の協力>

学校に協力してくださるボランティア隊員に登録されている方は本年度30名います。その方々は「安全ボランティア隊（登下校時の安全指導）」「学習サポート隊（教科学習への協力）」「環境サポート隊（環境整備への協力）」「スポーツサポート隊（スキー指導への協力）」に所属し、さまざまな場面で協力していただいています。7月28日には「泉台サマースクール」を開催し、学習サポート隊の皆さんの協力を得ながら、子どもたちが工作をおこないました。隊員には、いつでも誰でもなることができます。ご希望の方はぜひ学校までご連絡ください。



本校のコミュニティスクールが目指す子どもの姿は「『泉台でよかった!』と言える子ども」です（裏面参照）。閉校まであと2年半。泉台で生まれ、泉台で育った子どもたちが泉台の良さを知り、泉台を愛するには地域の力が不可欠であると考えます。そのような子どもが育つよう、学校から積極的に地域の方々へお願いをしまります。もちろん地域の方々のお声もお聞かせいただければと思います。これからのご協力、よろしくお願ひいたします。尚、この便りは定期的に発行し、学校と地域との連携についてお知らせしていきます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく学校までお問い合わせください。